

淀川区教育行政連絡会「中学校の部」議事要旨

日 時 平成 30 年 6 月 11 日 (月) 13:30~15:05

場 所 淀川区役所 5階 501 会議室

出席者 学校長：三国 十三 東三国 美津島

区役所：区長 副区長 教育支援担当課長 課長代理 係長 係員

傍 聴：0 人

- | | |
|------|---|
| 資料 1 | H29 運営に関する計画 区から依頼した取り組みの反映状況と評価結果
【中学校】 |
| 資料 2 | H30 運営に関する計画 区から依頼した取り組みの反映状況【中学校】 |
| 資料 3 | H30 運営に関する計画 区から依頼した取り組みの反映状況及び実施計画 |
| 資料 4 | 事業案についてのアイデア出し・学校長自由意見のまとめ |
| 資料 5 | 淀川区役所 教育支援担当 平成 30 年度事業予定一覧 |
| 資料 6 | 平成 29 年度第 3 回淀川区教育行政連絡会での意見の送付 |

【次第】

司会：教育支援担当課長

◎区長あいさつ

◎議題

- 《1 平成 29 年度 各校の運営に関する計画（区依頼事項の振り返り）》【公開】
- 《2 平成 30 年度 睡眠習慣改善に向けた各校の取り組みについて》【公開】
- 《3 「淀川漢字名人育成計画」における各校の取り組みについて》【公開】
- 《4 次年度事業に向けたブレインストーミング》【公開】
- 《5 学校安心ルールの本格運用について》【公開】
- 《6 教職員の負担軽減に向けた取り組みについて》【公開】
- 《7 分権型教育行政にかかる情報提供》【公開】
- 《8 その他》【公開】

- ・説明：区長、教育支援担当
- ・各議題について意見交換

議題1 平成29年度 各校の運営に関する計画（区依頼事項の振り返り）

議題2 平成30年度 睡眠習慣改善に向けた各校の取り組みについて

（区より説明）

- ・昨年度および今年度の睡眠習慣改善にかかる取り組み（ヨドネル）に関して、各校より補足をいただければありがたい。中学生が睡眠時間を確保することが難しい中、PTAや区政会議の部会からは睡眠の質の向上について指導できないか、または家庭に対する取り組みが重要ではないかなどのご意見があったので、先生方からもお知恵をお借りしたい。

（意見交換）

- 生徒会の保健委員を中心に睡眠に関するアンケートの結果からその実態を発表し、機会あるごとに生活リズムについて話し合っている。昨年度からの保護者及び生徒アンケートを今年も実施することで、継続的な啓発につなげていけたらと思う。アンケートの質問の中で睡眠時間について昨年は「7時間未満」、「8時間未満」で回答してもらったが、表現がわかりにくかったようなので、今年は文言を修正して実施していこうかと検討している。
- 「眠育」を継続実施している。起きる時間から逆算して睡眠時間を設定している。生徒へのアンケートの質問項目については、生徒の現状に応じて修正を検討している。
- 昨年度から一番わかりやすい「遅刻数」を指標に統一している。しかし、特定の生徒の遅刻数が多いという実態もあり、今年は「遅刻が年間20日以上の子どもの数を前年度以下に抑える」といった指標を加え、指導にあたっていこうと考えている。
- アンケートの結果を見ると、昨年度は一昨年と比べ少しは改善したが、それでも睡眠時間が短いことと携帯・スマホをさわる時間が長いことが課題だ。今年は特に寝る前のスマホのブルーライトが睡眠に悪影響をもたらすことを子どもたちに伝えていきたい。

議題3 「淀川漢字名人育成計画」における各校の取り組みについて

（区より説明）

- ・昨年度、先生方より漢字能力検定受検による学力向上の取り組みについて強い要望があり、区として予算要求した。各校で「運営に関する計画」の取り組みに盛り込んでいただいているが、各校の状況について補足説明いただきたい。当初、受検対象学年や受検級についてご意見があれば、各校の学校協議会における議論をお願いしていたが、いかがか。

（意見交換）

- PTA実行委員会からご意見があったが、丁寧に説明を行うとご納得いただけた。できれば、来年度も同じ学年を受検させたい。
- 当初掲げていた取り組み内容を改めて運営に関する計画に盛り込み、学校協議会できちんとご説明させていただいた。

議題4 次年度事業に向けたブレインストーミング

（1）平成31年度事業についてのアイデア出し

(区より説明)

- ・淀川区では校長先生方からのご意見をもとに区の教育支援策を組み立てており、アイデアをいただいて事業化している。次年度に向けて校長先生方から事前にいただいたアイデアをもとに議論していただきたい。

(意見交換)

【漢字検定の受検について】

- 1回だけの受検では効果がわからない。少なくとも何年か続けないと効果が出ないので、次年度も継続をお願いしたい。

【発達障がいサポーター】

- 特に下校時、正門から校舎までの距離が長く、子どもの飛び出し防止、安全のためにサポーターに立ってもらい、幅広い動きをしてもらっている。特定の子どもに1日につき1時間サポートしていただいているが、その子に付きっきりではなく、学校の実情に応じて幅広い使い方ができると学校としてはありがたい。

⇒区より

どういう使い方で、どの部分で手薄かがわかれば予算要求に挙げやすいし、必要であれば予算を増やすこともありだと思ふ。下校時の支援や登校時の出迎え、校外学習への付き添い、運動会の時の支援などは従来からやっていただいてよい内容で、ご相談いただければ予算の範囲内であれば可能だ。

- 小学校の支援と中学校の支援を連動させる必要はないのか。

⇒区より

小学校では今年度からスクールカウンセラーを増員配置し、校長先生からは非常にありがたいとお声をいただいている。中学校では漢検を実施している。

- スクールカウンセラー事業の今後拡充は決まっていないのか。

⇒区より

こども青少年局の予算として拡充は聞いていない。シーリングがかかって確保できないスクールカウンセラー事業の予算について、区の予算を充当することで、昨年度と同じ相談時間を確保した経過があるので、必ずしも来年度も予算を確保できるとは言いがたい。もちろん、可能であれば区としては拡充の方向でやっていきたいが、増強した部分が今年度、効果があると検証できなければ難しいだろう。学校協議会の場でも、学校の先生なら不登校の生徒をとにかく指導することになるが、それとは少し違う視点のアドバイスもしてくれるので、非常にありがたいというご意見もいただいた。区としては頑張っけて維持していきたいと思っている。

(2) 運動が苦手な子どもへ体力向上の取り組みについて

(区より説明)

- ・区政会議の教育部会、区PTAの方々と区長との意見交換の場で、運動の得意な子どもと苦手な子どもの二極化が課題だと指摘され、苦手な子どもへの支援の取り組みを区で考えてほしいとのご要望が

あった。小学校の部での議論では、遊びの要素を取り入れてはどうかとのご意見があったが、良いアイデアがあればご教示いただきたい。

(意見交換)

- 中学校では朝か昼休みしか運動する時間がなく、なかなか難しいので、体育の授業で体力を養うしかない。
- 苦手な子も達成感を感じるようなことがあればよい。例えば大縄跳び大会など、レクリエーションの中で体を動かすことで生活の中にスポーツを取り入れていく。
- 運動が苦手な子も認められるようにしないといけない。
- 遊びの中で体力づくりができればよいが、時間がないのが現状だ。本が好きな子もいればいろいろで、中学生になると個性もはっきりしてきて難しい。自分の得意な分野を伸ばすのもよいと思う。
- 小学校は遊具が豊富なので、遊ぶことができる。
- 運動場の広さは関係ある。ある区では運動場が狭く、運動場に出られるのが1週間に1回というような学校もあるとか。体力向上のためには運動できる環境や施設など、条件が揃っている必要がある。
- 現在の枠組みで言えば、区役所の出前講座で、モダンダンスやダブルダッチなどがある。ダンスの好きな子ども、特に男の子に多い。淀川区ダンスコンテストをやってみるとかは、いかがか。
⇒区より
中学生になると進路が見えてくる。本が好きな子、絵が好きな子がそれぞれ選択肢を選んでいるのに、それを無理矢理やめさせてまではどうかということもある。

(2) 区事業PRの取り組みについて

(区より説明)

- ・区政会議や区PTAから、区でヨドネルやヨドジユクなどのいろいろな事業を行っているが、表に知られていない、全然知らなかったという意見があった。学校関係者、学校に出入りしている地域や保護者の方もご存知ないということなので、PRの取り組みを充実させないといけないと思うが、先生方の方で何かアイデアがあればご教示いただきたい。中学校の校門を入ったピロティに、例えばヨドネルの旗竿を設置し、ヨドネルで睡眠を改善しようとかを掲げさせていただいたらありがたい。中学校でも学校体育施設開放事業などで、一般の方が学校に入って来られると思う。こういうふうになれば、区の取り組みが地域、保護者に伝わるといったアイデアがあればご教示いただきたい。

(意見交換)

- PRで最も効果があるのはポスター、標語だと思うが、特に夏休み前などポスターは山のようにきて取扱いが大変だ。
- ポスターを作成させるなど、子どもたちに関わらせるのが一番効果がある。

(区より説明)

- ・ヨドネルで、中学生に睡眠時間の量をとるのはなかなか難しいということで、睡眠の質を求めるような取り組みができないかが言われている。例えば、夜寝る前の過ごし方をどうするのかといったよう

なこともある。今からは啓発に取り組んでいこうと思っている。小学校の校長会や教育行政連絡会の場では、来年度どのような展開を区役所で考えているのかという質問があった。区としては今の取り組みを継続していきたいと考えているが、こういう取り組みに展開していったらどうか、など、ご意見をいただきたい。

(意見交換)

○昨年度のヨドネルの大規模調査を拝見し、睡眠に関する最近の傾向を理解することができたが、一方で、睡眠をとらない場合の健康への影響について具体的に示していただかないと、発展しようがないと思う。

議題5 学校安心ルールの本格運用について

(区より説明)

- ・学校安心ルールの本格運用により、各校において効果や弊害、または他校に対するご質問などがあれば、いただきたい。
- ・区PTAの方から、他の学校のルールを見たいとのご要望があったので、学校のホームページに掲載していただけるとありがたい。

(意見交換)

○教育委員会がスタンダードモデルを出す前から運用していた。今のままで十分運用できていると思う。
○学校として一つの判断をする際の拠り所となる判断基準として活用している。硬直化する指導をルールの運用によって防ぐことができている。
○懸念されていたのはルールを盾に取るケースだが、この2か月はない。逆に、子どもに対してこう書かれていると指導していて、狙い通り、良い方向での活用ができている。
○子ども、PTA実行委員会、学校協議会に説明済だが、特に問題ない。

⇒区より

1年目は各校でカスタマイズできないとのことで、周知されなかった経過がある。その原因は、ルールを盾に取り、保護者が罰則を与えるべきだと主張するケースが懸念されたからで、実際に小学校からもそのような事例があったと聞いている。そのような事例があれば、区にも情報共有をお願いしたい。

議題6 教職員の負担軽減に向けた取り組みについて

(1) 自動音声ガイダンスについて

(区より説明)

- ・自動音声ガイダンスが導入されたが、現状について何かあれば意見交換をお願いしたい。

(意見交換)

○機械が学校によって全く違う。自動的に音声ガイダンスに切り替わる学校もあれば、それができなくて手動で切り替えの必要な学校もある。プログラミングを変更しようとするば、パソコンにソフトを

ダウンロードする必要がある。専用のメモリーカードも必要。もっと簡単にできないものか。

○保護者から音声ガイダンス自体への反響は全くなく、混乱もない。

○朝は8時位まで、夕方6時半以降に電話はかかってこないで、保護者にも浸透してきたのかもしれない。

○1～2か月だが浸透していると感じる。社会の情勢が、きちんと時間を守ろうというふうになっている、学校だけがいつまでもコンビニエンスストアだと思っていたが、そうではないことがわかった。

○一斉にというのがよかった。どこの学校もそうだから、文句が出ない。

議題7 分権型教育行政にかかる情報提供

(1) 学校協議会委員研修について

(区より説明)

- ・昨年度まで年2回開催していたが、PTAからも1回でよいとの意見もいただいたので、今年度は1回にしようと考えている。その場合、新任委員向けの研修に特化されたいとの要望もあったので、そういった趣でやっていきたい。そもそも学校協議会とは何かから始まるような資料を現在作成中である。資料が完成したら、学校を通じて学校協議会委員に渡していただくよう、ご協力をお願いしたい。

(2) 校長経営戦略支援予算について

(区より説明)

- ・小中学校の両方で校長経営戦略支援予算に関するご意見を教育行政連絡会でいただいているので、教育委員会教育政策課や区長会のこども・教育部会に課題として投げたところ、部会の課題としてとりあげるとの回答があった。
- ・小学校からは選定方法と執行段階のミスマッチがあることや、選定方法として先駆的な取り組みしか選ばれないため、継続的で安定的な使い方ができないこと、中学校からはスケジュールの全体の前倒しについてのご意見を、課題として提出している。

(3) ヨドジユク参加増に向けた取り組みについて

(区より説明)

- ・今年度、東三国中学校、美津島中学校、十三中学校の教室を借りてヨドジユクを展開している。現在、十三中学校の前半の部は満席になっているが、他の中学校の前半、後半はともに空きがある状況なので、学校から夏休み前でもお声がけしていただけたらありがたい。
- ・昨年度はテスト対策や受検対策をあまりやってくれないのご意見を受け、今年度参加している事業者トライはビフォー・アフターのテストを実施し、弱点を攻略できるよう取り組むとのことだ。

議題8 その他

(区より説明)

- ・大阪エヴェッサのバスケットボールチームから応援デーというイベント企画の案内が区にきている。淀川区としてはエスコートキッズ、選手と一緒に入場し記念写真を撮るというイベントを実施する予定だ。エスコートキッズは基本的に小学生が対象だが、応援デーの日の試合開始の2時間前から1ク

オーター5分の4クオーター制で前座試合をすることもできる。他にもボールキッズ等にもエントリー可能。6月27日までに各学校からご希望があれば、区として申込させていただくので、ご連絡いただきたい。

(意見交換)

○教育行政で関係するのが子育て支援のことだ。本校で連続してDVや虐待の事象があり、子育て支援室に迅速、的確に対応していただいたので、大変感謝している。夫からのDVでどのような手順で対応したらよいかについて我々に迅速に教えていただき、区役所にお世話になったので、ありがたかった。